

第3回総則検討部会

- 1 と き 平成22年8月11日（水）午後1時～3時
- 2 と ころ 西脇市生涯学習まちづくりセンター マナビータ・ホール
- 3 出席者 部会長、委員6名、事務局
- 4 協議内容
 - (1) 前回のふりかえり
 - ・会議録及び会議資料に基づき前回の部会の概要を報告
 - (2) ワークショップ
 - 目的の議論では、自治基本条例の目的が明確でないと、読む方も何のための条例かということで迷うことがある。ただ、自治基本条例は、個別の条例と違い、総合的で仕組みを中心に規定するものなので、目的が少し抽象的になる。
 - 定義は、それぞれの言葉を色んな場面で使い分けしながら範囲を決めるものになるが、特に「市民」については、まちづくり全般に関わる責務や権利でもう少し幅広いのではないかという議論があり、事業を営んでいる者等も含めてもいいのではないか。場合によっては通勤・通学されている方も含めて、使い分けをしなければいけないかもしれない。
 - 定義で難しいのは「参画や協働」で、法律で決まっているわけでもないのに、社会通念や今の時代ではこういう形が望ましいという視点で定義付けなければいけない。「参加」は色んなところに自主的に入っていくということ。「参画」は運営や責任を担う。あるいは、自分で提案してみたり、提案されたものに初期段階から関わり役割を担いながら動かしていくということ。「協働」は、行政、NPO、自治会、ボランティア団体、企業などの団体同士が、目的を同じにして力を出し合うということで、一緒にする場合やお互い補完し合うなど色々あるが、違う団体が加わって、1プラス1以上の効果を得るようなことをやっていこうという仕組みのこと。
 - 今日は、基本理念と基本原則について議論するが、他市の条例の中には基本原則だけで基本理念を目的や前文に書いているところもある。長い文章を書くので前文の方がきちんと書けるが、法律の条項ではないので少し弱い。ただ、理念を条文に書いたところで、その理念に基づいて行政や市民が実行しなければ、単なる絵に描いた餅となるが、共通する目的、「こういう価値を大事にします」ということを書くことは、共通認識として大事なこと。
 - 基本理念とは、こういうことを大事にしてやっていこうという価値観のこと。ただ、価値観は人により異なるので、市民として共有できる価値観が入ってくる。例えば、「自治体としてしっかりやりましょう。」ということなら共通に納得できる。そういうことをテーマに、どういうものがあるかということで、例えば、「持続可能な地域づくりをしていこう。」「一人ひとりを大事に、大切にしよう。」「人権を尊重しましょう。」「中央集権型ではなく、分権型のまちづくりをしましょう。」「地域の幸福（福祉、福利）を高めていくというのが大事だ。」「環境を大事にしよう。」などがあります。共通で、みんなが納得できるものが理念で、こういうことは大事にしたいということを出し合い

ます。

- 基本原則は、基本理念に基づき自治体を運営するための原則です。事例では、「情報共有」「参加と協働」がよく出てくるが、これは方法です。協働は、協働を目的とするわけではなくひとつの手段です。参加も参加して何か成果を得ようということでひとつの方法です。そういう意味で、理念に比べると方法に近いものがある。基本原則には、行政はもっと効率的にやれとか財政はこんなふうによれという話にも繋がってくると思う。ここに出てくる原則は他の条項でも参照されるようなものになってくるものです。
- 「こういう価値を大事にしていきたい。」ということを考えていきますが、第1回総則検討部会での議論を思い出しながら、こんなまちになったらいいということを理念として表現するとこうなるのではということを経験していただきます。まず、みなさん方の生活体験から出てきたもので、理念というよりも、むしろみなさん方がまちづくりをしている、西脇市をこれからずっと発展させていくためには、こういうことが大事なのではということを経験していただく文章でも結構ですから、書いていきたいと思えます。

【出てきた意見】

- ・ 市民が主体になり、市・議会が補完すること。住民全てが平等で権利も責任も持つこと。情報を共有して、個人や地域の特性を生かした活動があり、それを生かしながらのまちづくりというのが基本理念です。
- ⇒ 「情報の共有と地域の特性を生かす」は、「地域の特性を生かす」と「情報の共有」に分けた方がいい。「市民が主体となる」、「議会が補完する」、「住民全てが平等であり、権利と責任を持つ」ということで、権利と責任がセットになるということは、それぞれの人が主体性を認められるということで大事なことです。「情報の共有」については、情報が無ければ判断もできないので、これもベースです。「地域の特性を生かす」は、これからコミュニティ単位の動きが活性化していくと大事なことになる。
- ・ 権利と責任として、参画する権利があって、助け合う義務がある。
- ・ 基本理念の中で将来性を汲んでおかないといけないので、子どもの将来性を考えていかないといけない。経済性もまちと同じですが、「人が来たい」と思えるということ。活力のあること。
- ⇒ 時間軸はすごく大事で、今だけではなく、我々のいなくなった後のことも考えないといけない。助け合い、というのもそうです。
- ・ 基本的人権の尊重がまちづくりの基本で一番大事だと思う。市民は自治の主体、主権は市民。市や議会は市民の信託に誠実に応える。もうひとつは、市民と市、議会が協働によるまちづくりを推進する。
- ⇒ 人権は憲法で書かれているので書かなくていいという話もあるが、ベースになるところは確認の意味でも押さえておこうという考え方もあると思う。
- ・ 「思いやり」「豊かなまち」「健全なまち」「個人を尊重する」ということ。これをどこまで、私たちが決めていくのかということについては疑問です。
- ⇒ あまり価値観を細かいところまで決められても困ることがある。しかし、共通の価値観が何も無ければ、まとまるものもまとまらないので、その辺りのバ

ランスが難しい。こういう形で表現していただくのもひとつのやり方だと思う。

- ・ 安心して暮らせることが幸せを感じることでありますが、安心して暮らせるということは基本的な人権が尊重されていることだと思う。情報の共有ということでは、人を大切に作る、どんな人からも意見を聞けるようにする。先程、時間軸の話がありましたが、時間軸だけでなく平面軸としても、まとまりのあるまちづくりというのが理念の中に入ってくると思います。自然とか地域性、生活の活性というのがあればいいと思います。
- ⇒ 色々なところに絡んでいるので、文章化するときによく検討してみますが、関わりの中で捉えるとこのぐらいのことです。

西脇市も他から言われて動くより自分たちで市民の未来を考えるという、市民主権。主体ということは、自律、自分たちで考えるということ。そういう言葉がベースにないといけないのではないかと思うので、やはり、「市民が主権者」が基本になると思いますし、「人権尊重」も大事なことになるので一人ひとりの個人を尊重していく。そういうときに信頼感もいると思いますが、条例の中でどう謳うのか、難しいですが精査します。

補完性の原則のような、身近で出来ることは身近なことに関わる人たちが行い、出来ないことは自治協などで行う。それで出来ないことは市で行う、市で出来ないことは県でというような段階でやっていくという考え方もあるので、これも理念になるという思いから書かせていただきました。

主なポイントは出たと思います。特に人を大事にするというポイントは、色んな方から出ました。市民が主権者というのは、人を大事にするということに繋がっています。市民が主権者であるということになると、勝手に何でも好きなように言っていていいのかということになる。責任があります。権利と責任や、物事を決めていくことなど、そういうものをつくり考えましょうということ。

その関係の中で信頼関係とか、もう少しレベルを上げて自然とか地域を大事にしながらという視点。それから行政や議会の動きも観察して一緒に全体でまちを運営していきましょうという話。

さらに将来、時間軸と空間軸というもの、例えば全体がまとまったような3次元のまちづくりみたいなこともあると思います。

これを見て、追加があれば書いていきましょう。

【追加意見】

- ・ 自分のまちに誇りを持つ。豊かな自然環境を未来に残す。
- ・ それぞれの役割に責任を持つ。

【基本理念についての意見に関する感想】

- ・ 結局、一人ひとりが西脇市民であるという自覚が無ければ成り立たないことだと思います。ここにいる人たちはこういうことに関心があって、市から出た情報なども積極的に取り入れようとしている人たちだと思うが、西脇市に住んでいても必ずしもそうではない人たちが、こういうところに入ってくるようにするには、どうしたらいいのかということが出てこない、文章があるだけで

実際に役に立たないのではないかと感じます。

⇒ ここでいくら議論しても、他の人は知らないとなるとまさに絵に描いた餅で、単にこんなことやっていたなということになるので、大事なことです。後で策定プロセスもありますが、策定することが大事なのではなく、後の実施、それが使われるということがすごく大事です。アイデアとして、後の条例の見守り、監視、チェックという条文を書いているところもありますが、監視する以前に知ってもらおうということもあります。それは事務局だけではなく、みなさん方にも課せられた仕事で、委員になったからには少しは周りの人に伝える責任もあると思います。ここで決着するわけではなく、最終的に議会で決めますが、基礎をつくったということで責任もあります。しかし、使えなかったら意味がありません。堅い条例をつくって、「使え」と言っても、読む方が分からないのでは困るので、やはり分かるような条例をつくらないといけない。

- ・ 今のまちの現状に対しても、「このまちが好きだから」という気持ちでやっていこうという考え方と、「今からこのまちがこういうふうになって欲しい」という未来型で、というのがるように思います。私は、未来志向型の、まちはこうなって欲しい、という基本理念になればいいと思います。最後にありました「市民が誇りを持てるまち」というのがいいと思いました。

⇒ 未来志向というのは、すごく大事なことで、人の所為にしていたら未来志向にならない。参画と協働も関わって、責任を負わないと、文句ばかり言っていたのではダメですから。現状をあれが悪い、これが悪いと否定しても、未来は出てきません。そういうふうに、市民に理解してもらう必要もあります。しかし、「何するの」となると答えられない人が多いですが、そういう人は、話しているうちに未来志向に変わってもらえるということがあると思います。その大きなポイントは多分、「自分のまちが好きだから」ということです。無理に出したらいけません、自然に持ってもらえるように、何かしないといけないということになります。

誇りというのは人が動く根本の動機になります。人は誇りを傷つけると信頼を壊す、これはすごく大事なことです。自然に誇りを持ってもらえるようなまちにするということは、最初に議論した「こういうまちにしたい」とか「こんなものでできている」ということを考えれば、誇りを持つためにはどうしたらいいかという視点での考え方がまさに未来志向という捉え方かと思います。

- ・ 「子どもの将来性があるまち」ということに一番共感しました。そのためには基本的に経済的な活力があることだと思います。それとこの素晴らしい西脇市の自然（素晴らしい川、山、田園空間）を何とか生活の中に生かせるということが大事です。

⇒ 子どもの将来性、活力あるというのは、未来志向に繋がります。やはりこれから先の時代、その中に自分たちも入っているわけですから、自分たちのことも子どもたちの世代もあります。後の世代に対してもきちんと資産を残していかないといけないし、いいまちをつくっていこうということが市民の誇りに繋がっていくと思います。しかし、誇りだけではなくて、経済的な活動というのも勿論なければならないし、経済的でないと誇りというのは、潰れていったりします。この中には、西脇市の持っているポテンシャル、自然や歴史も、すご

く大きな財産ですから大事にしたいということです。

- ・ 将来性と似たような時間軸ばかり考えてしまったのですが、その中で現在という面的なものと、立体的な組織が無いといけないと思いました。こちらに書かれた場合は、どちらかというところ今的な要素なので、今現在ある面的なものを将来へずっと伸ばしていかいといけない。形でいうなら円錐ではなく円筒でなければいけないのかなと思いました。だから、現在の組織を将来へ持っていったようなものの組織化というか、全体の広がりなのか、そういうような要素がどうしても必要ではないか。現在、確かに、色んな事が、例えば、市民の知る権利、それは勿論、原点でなくてはいけないけれども、それと時間軸を合わせたものを持ってないと原則として成り立たない。将来の条例としては生きてこない、というふうな気がします。
 - ・ このことをどうやって市民みんなが知って、それを実行して、そういうふうな感覚が出てくるのかと思います。

私の周りにはお年寄りが多くて、色んな人のお世話をしているのですが、そんな人を一緒に病院へ連れて行ったりとかしていたら、このおばあちゃんらは私が世話してあげられるけど、いざ、私になったら誰かしてくれる人はあるのかという不安があります。子どもが市外へ出て行ってしまい、将来帰ってこれるか分からないし、また、子どもが出て行ってしまった家がポツポツとあって、そのお世話をしていますので、少しそういう不安なところがあり、今ちょっと未来的な展望が開いてきません。
 - ・ さらに未来が無いのが、私の周りにいる小さい子を持っている方たちで、「こういうことしてるよ」と言うと、「やっといてね」と言われる。「やっといてね」ではなく、「どういうふうにしたらいいかという意見を言ってもらったら入れるから」と言うけど、「任せた」という感じで、未来に広がっていかない。出て行って戻ってきた人たちがそうだったら、なかなか進んでいかないのではないか。では、そういう人たちを「一緒にやろうよ」という気持ちにさせるには、どうしていったらいいのかというのが悩みとしてあります。
- ⇒ 参加を権利として保障するには、託児などの具体的な仕掛けが必要で、「参加を保障します」と条例に書いても、使えなかったら意味がありません。そうすると、使えなかったら誰も知らない、関心も持たなくなります。託児までここに書く言葉ではないかもしれませんが、そういう考え方はすごく大事だと思います。託児に限らずお年寄りでも車椅子で来られたら誰かが押して行くとか。それも市役所の人全部押していたら、職員が何人いても足りないの、それはご近所や仲間ですてくれればよいと思います。助け合う義務というより自発的な気持ちがあったら嬉しいです。
- ・ やはり人権尊重とか個人を尊重するという事は非常に大事だと思います。まず個人からスタートして、その中でまちづくりに関わるにしても、色々な立場、高齢者やハンディキャップを持っている人もあるし、そういうことを考慮しながら出来ることはやっていく。個人である程度のことにはするけど、できないことは、色んな団体に加わってもらってもう少し大きなことをやる。そのときに市がバックアップしてくれる、補完するということが非常に大事になってくると思います。基本的にはまちづくりは自分たちでやっていますが、バック

アップしてくれる部署があつてやっているの、そういう取組が大事になってくる。その代わりにやる以上は、責任を取らないといけないということを思いました。

⇒ 先程の託児の話も参加を保障するということですから基本的人権です。選挙権で最近、外国の人でも投票できるという議論がありますが、あれも投票するという権利を、そのための仕掛けをやろうということだと思います。一人ひとりを大事にして、個人を尊重することに繋がる話です。自分が尊重されなかったら、ここには絶対に入らないですから。

・ 私は、西脇市民で、西脇に住んでいる親の下に生まれて、よそに出ていこうと思えばできるけど、なぜ西脇に住んでいるかという、自分が生まれ育ってきた思い出や、色んな愛着、いいことばかりでもないし、問題もあるけど、地元ということですからごく愛着があるからです。

自治基本条例は、これから将来にわたって住み続けたい、自分も、自分の子どもの世代とか、子どもが大きくなったら外へ出て行ってしまつて帰つてこない、年寄りだけが残されるということではなく、いずれは帰つてきてくれたり、住み続けてくれるという、そういうまちを目指してつくるように感じる。ここに出てきている意見を見て、これが全部実現したら、そういう、住み続けたいというまちになるのではないかと思います。

⇒ 確かに西脇に生まれたということは単なる偶然でしかないわけです。でも、特に大人になったら、愛着もあるし、愛着というのは、生きてきた自分自身の歴史でもあるし、同時にそれは時間軸ですから、その横の広がり、友達とか色々関係した人との付き合いとか、そういう全体像ですから。そういうことが含まれて愛着の方を取るか、別の方を取るかというところで微妙な揺れがあると思います。別に愛着があつてもやむを得ず仕事の関係で出ていく人もいますし、愛着は無いけどやむを得ずいる人もありますが、そういう人たちにできるだけ愛着を持ってもらいたいということです。そういうトータルなものとして、一人ひとりがあるという、まさに、一人ひとりの個人の尊重、そういうこともすごく大事なことだと思います。

・ 「住みよいまちづくり」や「よい西脇づくり」というのは、やはり自治の基本で、自らが考えて行動することが非常に大事ではないかと思います。

⇒ 別にまちづくりを普段1日中考えろという話ではありませんから、市民の方に自ら考えて行動していただく。自分や家族、将来のこととか色々と考えて、隅っこに少し、西脇市がどうなればいいのか考えるということも含めて自ら考え行動するということでしょう。100%なんてことはあり得ないですから、1割、2割ぐらいできたらすごく変わると思います。2割ぐらいだったらみなさん方で手分けしたら、そういう人がつくれるのではないかと思います。

・ まちを活性化させていくために、まず、先ほどの「住み続けたいと思える地域をどうやってつくっていくか」ということで、「そういう場をつくって、次にそのための条件を整えて」ということが自治基本条例の役割かと思っています。これができて、実効性を持つというのが必要ですけど。つくったことでどう変わっていくかというのが、今からまた、考えないといけないことだと思います。

・ 「いかに自分の将来を、西脇市を考える人が多くいるか」と、そういう人を

増やすということかなと感じています。

⇒ そういう人をどうするか。ここに来られたということは、そういう人になってしまったというか。でもみなさん方も、ひょっとしたら数か月前はこんなこと全然、何も感じていなかったということはあるかもしれません。たまたま、運悪く来たということもあるわけですが、そういう人も大事です。関心のある人だけが、集まって議論するというのも大事ですが、「条例とか、そんなややこしいことには無関心だったけれども、やっぱり西脇が好き」という気持ちのある人が来て、「具体的に自分の好きなものを形にするには、こんなやり方もあるのか」と目覚めていただくこともすごく大事です。傍聴に来てもらうのも一つの方法ですけれども、みなさん方の周りでそういう人たちを目覚めさせていただけたらと思います。

・ 西脇は特に情報の出し方が下手というか、悪く言えば都合のいい情報しか出していないということをよく聞きます。そういう面もあるかもしれませんが、色んな人にこういう場に参加してもらえたらいいと思います。しかし、「行政と関わったらロクなことが無い」とか、及び腰になられる方もあります。個人的に話していたら「意見は分かるけど、そこへ出るのは」と二の足を踏まれる方が結構多いので、そういうことが少しでも減っていけばいいと思います。

⇒ 出し方はよく分からないが、情報を色々を出したいと思っておられる人もあると思います。というのは、情報を出したら自分のやっている仕事が知られるわけですから、自分の評価が高まって嬉しいです。でも、つい面倒くさいから出さなかったりしますけど、本当は、出した方がその人には得です。自治基本条例をつくっているという情報が出たら、あんなことにも関わっているのかということで、みなさんの株が1個ずつ上がっていくとか。情報を出した方が得です。

○ 基本理念については、今の意見から大体の方向性が出てきたと思います。これはまた次回以降整理してまとめていきたいと思います。

次に基本原則を出し合っていきたいと思います。基本理念のところでも出したものも原則で謳いたいこともあるかもしれませんので、原則と思うものやまちを運営していくための仕掛け、仕組み、手段、やり方と考えてもいいです。そのベースになることを挙げていただけたらと思います。

【出てきた意見】

- ・ 市民一人ひとりの人権が保障され、個性、能力が発揮できること。市民、市は情報の共有と公開をする。市民、市が参画と協働によるまちづくりをする。安全と安心のまちづくりをすること。
- ・ 個人の自由と権利。情報を共有する。コミュニティと個人の自由と権利に少し相反することかもしれませんが、何かしらコミュニティに参加すること。
- ・ 情報を共有する権利が必要。情報を貰うのだったら、まちづくりに参加する権利。まちづくりに参画しできることをする。できることをするからには市の方も説明をする責任があると思うし、説明をどこで聞いたらいいのかとか、問い合わせをどこへしたらいいのかという窓口が分かりやすくないと困ります。それと何かをしたら、やはり結果が欲しいので、評価する時や場が欲しい。

- ・ お互いに和というのが大事。情報の共有。協働というのは、市民参加というのが元になりますので、住民活動が自治の原則
 - ・ コミュニティを組織化して、その中に何か小さな単位がないと、そこへどのように参加していくのか。市民に何か役割を担ってもらい、参加していけるような計画を立てたらいいと思いました。市民は何か努力しなければならない、何かそういうようなことがあればと思いました。
 - ・ 色んな情報がありますが、情報公開の全面化をしないと、一部だけを出したのでは情報が偏ります。透明化と共に全面化を図っていかないといけない。地域コミュニティの育成をはじめ色んなことが出てきますが、結局、『共育』という、共に育てることをこれから考える。協働、参画とあるが、共に、お互いに育て合わない、意見の違う人もいっぱい出てくると思います。そういうことを理念に考えていかないといけないと思いました。各個人の能力というのはバラバラなので、お互いの知識を知り合いながら育てるとというのが『共育』。他人を尊重する、結局、基本的に人間というのはバラバラであるので、それを共に尊重し合って一緒に高めあっていかないといけないのではないかと。
- ⇒ 人権も一人ひとりを大事にするということにも繋がってきます。『共育』というのは学習という言い方に変えてもいいかもしれません。お互いに学習し合うと。情報があっても学習しないと分かりませんから。学習というのはすごく大事なことです。

情報共有は当然だと思います。それから参画と協働。それからコミュニケーションと書きましたが、お互いに事業者も市民も市民同士もコミュニケーションを活発化しないといけない。これは説明責任の中にも入ります。

市政運営の話では、夕張市みたいにならないように持続可能な歳出をやっていると大変なことになります。例えば、「そのお金はどこから出ているのか。」ということから市民の負担というところまで話が広がるかもしれないし、そのためには効率的な行政運営をしてもらわないと、これは安く上げることだけではないです。こういうような議論をしてみなさんの意識が高まれば、それも効率的な行政に繋がります。それから自律ということで、やはり条例できちんと決めていくことが大事なことになってきます。

それから、コミュニティと一緒にですが、地域ぐるみと言ったら大層ですが、そういうような地域を大事にするなら、地域をベースにした仕掛けというのが、これからの時代必要かなということだと思います。

最後に、市民の直接的意思決定ということもやはり必要性が出てくるだろうなと思います。これは、住民投票のところでも色々議論するので、話題提供だけさせていただきます。

- 特にこの情報共有という話は、どちらにもたくさん出ていますので、整理するという意味で、どちらに入れたらいいかということで何かご意見を。

- ・ 具体的なことなので基本原則の方で。
- ⇒ 基本原則にまとめます。情報共有というのは、ある意味で理念的にもすごく大事なことです。情報共有というと、例えば、平等と誰かが書かれていたが、平等になるための最低条件です。特に行政と市民では情報量が全然違うので、いくら対等になれと言っても情報が一緒にならなかつたら対等にならない

のですごく大事です。そういう意味で理想的にも大事ですけど、行動原則みたいな形に理解する限り、こちらになるかなということでもとめます。

【意見の整理】

- 参画と協働、人権、地域のコミュニティや地域のあり方、地域の活性化、地域の特性を生かすというのも両方にありますが、これも機械的に割り振りができないところがあるので、とりあえず置いておきます。

説明責任は、市民個人というよりも、市民グループ、団体、地域団体にも付いて回るわけです。自治体も自治協も住民から問われたら説明しなければならぬし、その他ボランティア団体も補助金などが出ていたら説明責任が発生します。市民にも行政にも両方発生します。
- ・ 先程、基本理念のところでは情報の公開と説明責任に対して信頼性という言葉でまとめられたと思いますが、信頼感とか信頼性の中に情報の共有とか説明責任が入ってきて、原則の中に情報公開とか説明責任などの具体的な言葉が入ってくる方が分かりやすいかもしれない。
- ⇒ そうですね。こういうことも理念に含めて触れておく方がいいような気がします。これも一部ここに入ってくるということで、とりあえず置いておきます。

また、最終的に条文にしたときに、どう整理するかというのは議論していただいて、文章をどうするかというのは少しお待ちいただきたい。今日は原則の方に大事なところを置いておこうと思います。

【基本原則についての意見に関する感想】

- ・ 参画と協働が基本原則で一番重要視される項目という気がしました。

地域の分権というのは、例えば、西脇市は郷（ごう）地域というのが元々あるんですけど、そういった地域がそれぞれで独立した協議会を持って、権限も持って仕事をするという、そういうふうを考えてよろしいですね。
- ⇒ 小学校区程度の地域で、行政の権限を渡してもいいのではないかと。勿論、権限だけでなく予算をつけて責任を持ってもらわないといけません。
- ・ 例えば、まちづくり協議会みたいな感じの。
- ⇒ そうです。まち協については他の部会で詳しく議論してもらえると思いますので、仕組みは任せて、大きな話だけで。こういう原則というのは、その地域に任せる。地方分権と言っても、市だけに権限が来ても実際、動かないだろう。逆に地域の主体性を発揮した方が、地域としては色々できて面白いです。効率的な行政経営ということに入っている気もするが、結局、市役所の中でだけ効率的な行動をしても、市全体としては効率的な動きにならない場合が多いというのがあります。その代わりに、地域の責任と主体性が問われますので、やる気の無いところは全然ダメになるけれども頑張っているところは、ドンドン良くなっていく可能性はあります。
- ・ 今からの時代、災害や色んなことが多くなってくるから、小さな単位での集まりが底辺にないと、まとまっていけないと思う。やはり、地域、お隣同士などを大切にしていこうというまちづくりをと思いました。
- ⇒ これも行政の枠組みとしてすごく大きな話で、大変大事なことだと思います。
- ・ 今の地域コミュニティの情勢というのは、地域特性が違うということが原点

にあり難い。地方分権という捉え方と特性的な捉え方があると思う。そうになると、特性的な価値を持って運用するというを基本的小おさえていかないと難しいという気がします。基本原則はあくまでも、これからやっていく上での1つの手法として、特に、一部の都合のいい情報だけを出しても話にならないので、情報の全面化、公平化、透明化というのは、これから絶対必要になってくると思います。そうしないと、どこかの段階で行き詰ると思うので、地域コミュニティの醸成と共に、情報の公平化が必要だと思います。

⇒ それは信頼感です。これからはやはりそういう仕組みだったらということですから。中からも変えてもらったらいいし、外からも変えようということですよ。

- ・ 『共育』という、共に学習して、共に育っていくことが大事だと思っています。2点目ですが、情報が分かりやすいと書いてありますが、広報を読んでも横文字や難しい言葉が多いです。難しい言葉があると、「もう読めない」ということになるので、小学生が読んでも分かるような表現の仕方、そういった分かりやすい説明が大事だということも感じます。

⇒ 学習、それから、分かりやすさですね。分かりやすさも色々あり、小学生が読んで分かるかというのは、ちょっと難しいと思いますが、中学生ぐらいなら分かるかなというのがひとつの基準になると思います。

カタカナ語もあまり使わない方がいいのは確かですけども、例えば、「バリアフリー」という言葉がなぜ使われるようになったのかというと、日本にバリアフリーみたいな考え方が無かったから言葉が無かったのです。その言葉がないということは、そういう考えを誰も持ってなかったからなのか、バリアフリーにしていなかったのか。やっていないわけではないのです。自然にやっていて、言葉にする必要も無いくらいやっていたという面もあるし、でも、街の中などは全然ダメです。だから、そういう発想が無かったとか。自分ら身内ではバリアフリーをやっていたけど、外では、公共のところではバリアフリーが無かったという、日本の実態があったからバリアフリーという言葉に対応する日本語も無かった。これも考えないといけないところです。だから、やむを得ずバリアフリーという言葉を使っていると思います。

- ・ 私も『共育』という言葉、すごくいいと思いました。それと、コミュニティの組織の円柱ですかね、これは組織の中の人間の量なのか、質なのか、その組織自体の量なのか。

- ・ 意識レベル。
- ・ 意識レベル。組織の質というか、醸成していくという意味での、円筒形ということですね。私が思うのは、コミュニティという言葉がよく出たと思いますが、けれども、色んな組織があって、どこの組織に属してもいいという、とにかくどこかに属してればいいのではないかという、そういうまちであって欲しいと思います。「ここに入っておかないといけない」、「この共同体に属さないといけない」みたいな、そういう決め事ではなく、どこでもいいから入って、まちづくりの活動をやればいいのではないかという考えがあります。そのために色んな団体があつたらいいと思います。

その立体化を、後から思ったのですが、「魅力」というキーワードで、魅力のあるまちというのが基本的な部分に欲しいと思います。

⇒ すごくいいことをおっしゃっていただきました。コミュニティの地域組織に全部入らないといけないということは全然ないです。色んな場があって、自立支援やボランティア団体もあるし、色んな団体があって、どこかで動いていればいい。まさにその方が、本当は効率的です。一本化すると、物事は非効率になりますから。これはすごく大事なポイントで、条例にどうやって入れるかというのはありますが、実際にこの考え方がすごく大事です。

- ・ これを見たときにコミュニケーションが大事かなというふうに思いましたので。私がこの場にいるのも、市長との対談でみなさんと出会ったのがきっかけで、行政と市民のコミュニケーションがある場で起こったわけで、「ああ、担当者の方もご近所さんでしたか」というところから始まって、この場に出てきているという繋がりがあるので、色んな情報の交換や説明責任はコミュニケーションが基本なのかなということを感じました。

⇒ コミュニケーションは、一人ひとりの個人を大切にすることのベースになっている。情報もある意味言葉の伝達の方法でもあるし、参画と協働も方法です。そういう意味でコミュニケーションを活発にするための仕組みは条例で色々あるだろう。これらの関わりあいを含めてそういう話をできればいい。

その意味でまち協は、すごく役割が大きいです。地域のコミュニケーションを上手く組織化してやるというのは、なかなか単独の自治会では小さすぎてでき難いですけどね。そこだけではなく、色んな団体も混ざりあったものがあるという話にもなる。地域分権とは多分そういうことだと思います。

今日は色んな意見が出てきて、これだけ出れば、もう条例の文章にするのも比較的近いなと思います。いきなり条例の文章にするのではなくて、少しこれを整理したものをその次のステップで条例にするということにします。

(4) 今後の日程

第5回総則検討部会 平成22年10月14日（木）午後7時から

第4回総則検討部会の日程変更 平成22年9月13日（月）

⇒平成22年9月22日（水）午後7時から